訪問看護での感染対策について紹介します。

精神科認定看護師　齋藤教子

コロナ感染症が５類になりましたが、まだまだ身近に感染者の報告が聞かれます。
当院の訪問看護では訪問看護利用者さんにも協力していただき感染対策を継続しています。今回は訪問での感染対策を紹介したいと思います。

・訪問スタッフの健康管理　毎朝の体温測定　マスク着用　手指消毒液の携帯と実施

・訪問看護利用者さんや同居家族さんの健康状態の確認を玄関先で伺います。

・非接触体温計で検温と経皮酸素濃度測定をします。

・換気のお願い（窓や戸を少し開けていただいています）

・利用者さんや同席されるご家族さんにもマスク着用していただいています。

・使用した検温計や体重計などは使用後毎回消毒しています。

・毎回の訪問時には外出後の手洗いうがいを呼び掛けています。

・車での移動中は窓を少し開け換気を意識しながら走行しています。

訪問利用者が「コロナに感染した」「熱がある」などの情報を訪問前に連絡をくれます。
忘れないように、習慣になるように毎回の訪問実施時に感染対策についてお伝えしてきます。
このような対策を行いながら訪問看護を実施しており、訪問看護利用者からのスタッフへのコロナ感染は今までありませんでした。

今後も訪問看護利用者さんにご協力頂きながら、安心で安全な訪問看護を実施していきたいと思います。